科目ナンバリング	U-LAS04 10010 LJ45						
授業科目名 <英訳>	社会学Ⅰ Sociology I			担当者所属 職名・氏名	非常勤講師 西川　純司		
群	人文・社会科学科目群	分野(分類)	教育・心理・社会(基礎)	使用言語	日本語		
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）
開講年度・開講期	2025・前期	曜時限	月5	配当学年	全回生	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

本講義では、社会学史を概観しながら、社会現象を理解し、解釈し、説明しようと試みてきた理論や学説について講義する。また、それらがどのような社会的背景のもとで考え出され、社会をどのように捉えようとしてきたのかを解説する。誰が、いかなる同時代的背景のなかで、どのような理論や学説を導き出してきたのかを知ることは、現代に生きる私たちにとっても社会を見通す鍵となるだろう。「社会学I」では社会学のはじまりから構造機能主義までをみる。

[到達目標]

1）社会学の理論や学説について把握し、それらが生み出された社会的背景と併せて、説明することができる。
2）社会学の理論や学説を用いて身近な社会現象について考えることができる。

[授業計画と内容]

第1回　オリエンテーション
第2回　社会学前夜：マルクス
第3回　社会学前夜：マルクス
第4回　社会は行為でできている（行為論1）：ウェーバー
第5回　社会は行為でできている（行為論1）：ウェーバー
第6回　社会はモノでできている（構造論1）：デュルケム
第7回　社会はモノでできている（構造論1）：デュルケム
第8回　社会はプロセスでできている（相互作用論1）：ジンメル
第9回　社会はプロセスでできている（相互作用論1）：ジンメル
第10回　「不自由」であることに気づく（イデオロギー論1）
第11回　なぜ社会が成り立つのか（行為論2）：パーソンズ
第12回　なぜ社会が成り立つのか（行為論2）：パーソンズ
第13回　構造と機能というアイディア（構造論2）：マートン
第14回　構造と機能というアイディア（構造論2）：マートン
第15回　フィードバック

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点]

確認テスト（60点）と期末レポート（40点）により評価する。
詳細は初回の授業で説明する。

社会学Ⅰ(2)へ続く↓↓↓

社会学Ⅰ(2)

[教科書]

使用しない

[参考書等]

（参考書）
木村至聖 『歴史と理論からの社会学入門』（ナカニシヤ出版、2022年）ISBN:978-4-7795-1634-4（社会学理論を世界史的背景とともに解説している）

[授業外学修（予習・復習）等]

授業前後に、参考書や授業中に紹介する文献を読んでおくと理解が深まる。

[その他（オフィスアワー等）]

[主要授業科目（学部・学科名）]